

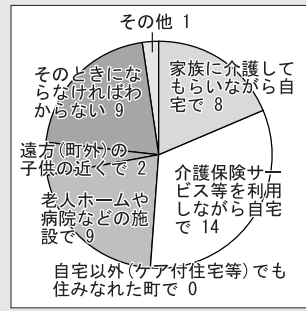
# 高齢者実態調査の

# 結果がまとまりました

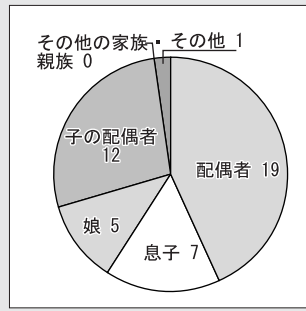
## 介護保険料「やむを得ない」「やりくり難しい」

### 在宅介護に支援を求める意見が多く

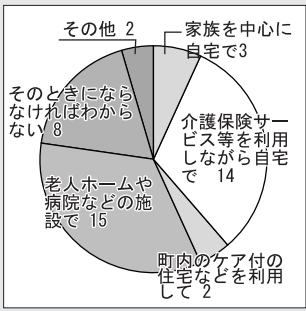
在宅で介護していくために、どのような支援が必要かという質問では、「移動支援やサービスの提供時間の延長など、現在よりも拡充したサービス」「緊急時に対応できるサービス」「おむつなどの必要品の負担軽減のための助成」などの意見が寄せられました。



問 31 = 今後どのように生活したいか



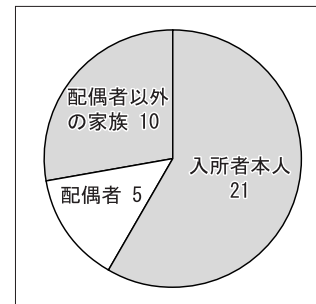
問 32 = 主に介護している方は誰か



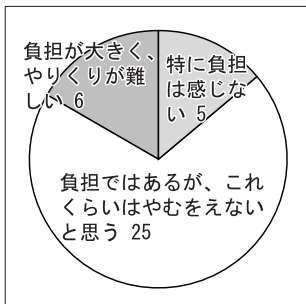
問 40 = 介護している方は今後どのように介護していきたいか

### ■要介護認定者（施設）調査結果 調査対象者 44人 回収 36人（回収率 81.8%）

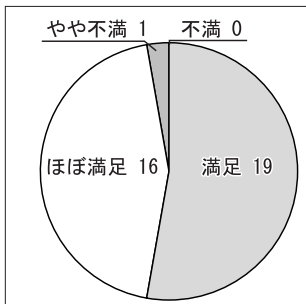
問 6・7 = 施設入所にかかる自己負担（1割負担・食費・居住費）の負担者および負担感では、6割近くが「入所者本人」が負担していますが、一方で、4割近くが「配偶者」または「配偶者以外の家族」となっていました。また、負担感については、7割近くが「これくらいの負担はやむを得ない」となっていました。



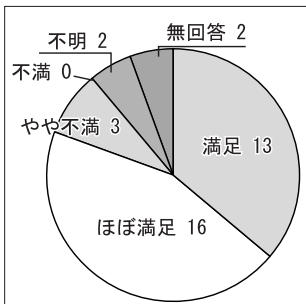
問 6 = 施設入所の自己負担分（1割）は誰が負担しているか



問 7 = 施設の自己負担（1割）の負担感



問 11 = 施設でのサービスの満足度（家族）



問 15 = 施設でのサービスの満足度（入所者）

※調査の集計結果は福祉保健課窓口で閲覧できます  
詳しくは福祉保健課介護保険係 ☎ 47-5555 総合福祉センター 窓口 7番

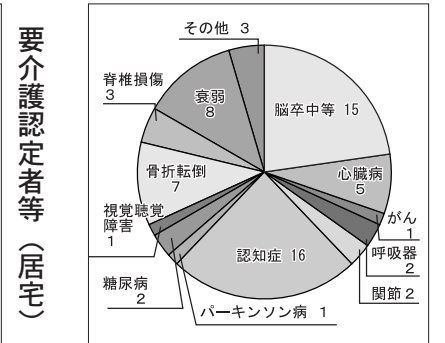
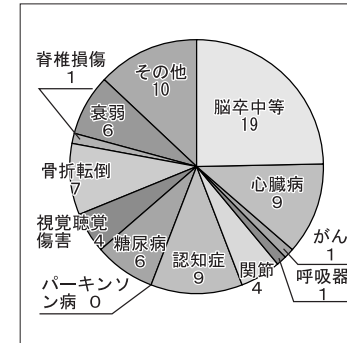
町では、今後の高齢者福祉施策の参考にするため、今年3月に高齢者実態調査を実施しました。調査は、居宅の要介護認定者調査（訪問面接調査）、施設の要介護認定者調査（家族に郵送し実施）の二つを行い、生活状況や介護保険などについて質問しました。

要介護認定者（居宅）に対する「介護保険料の負担に関する質問」では、「みんなで支える制度だから、これくらいの負担はやむを得ない」という回答が多く、また、要介護認定者（施設）の「施設費の自己負担（1割負担・食費・居住費）の負担感に関する質問」でも、「これくらいの負担はやむを得ない」という回答が多く見られました。主な調査結果を紹介します。

### ■両調査共通の「介護・介助が必要になった主な原因」について

#### 介護が必要となった多い原因に脳卒中など

介護・介助が必要になった主な原因で多く回答があったのは、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」「認知症（アルツハイマー病など）」「骨折・転倒」でした。



### ■要介護認定者（居宅）調査結果 調査対象者 50人 回収 46人（回収率 92.0%）

問 4 = 夫婦・家族と同居世帯の方で日中一人になることがあるかという質問では、6割以上が「ある・たまにある」と回答しました。

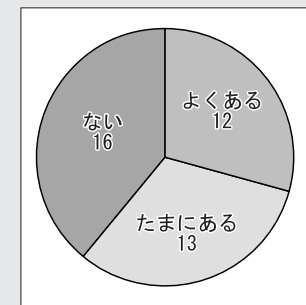
問 11の⑦ = 1週間以上誰とも話さないことがあるかという質問では、5人の方が「ある」「たまにある」と答えました。

問 14・17 = 介護保険料についての質問では、4割以上が「みんなで支える制度だから、これくらいの負担はやむを得ない」と回答した一方で、「現在の負担は苦しく、やりくりが難しい」と答えた方が3人いました。介護サービ

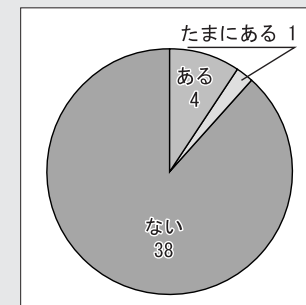
スにかかる自己負担（1割負担）については、「負担ではあるが、これくらいはやむを得ないと思う」という回答が半数を占めました。

問 32 = 主に介護している方は誰かという質問では、4割以上が「配偶者」、次いで「子の配偶者」が3割近くと回答の多くを占めました。

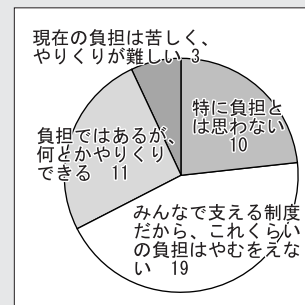
問 31・40 = 「今後どのように生活したいか」と「介護している方は今後どのように介護していきたいか」という質問では、どちらも家族中心、もしくは介護サービスを利用して自宅で生活したいとの回答が多くありました。



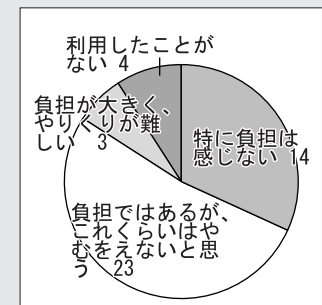
問 4 = 同居世帯で日中一人になることがあるか



問 11の⑦ = 1週間以上誰とも話さないことがあるか



問 14 = 介護保険料について



問 17 = 介護サービスにかかる自己負担（1割）について